

2019年4月12日

Society 5.0 –ともに創造する未来–

中西 宏明

日本が、今、推進しているのが、「Society 5.0」の実現です。Society 5.0は、デジタルトランスフォーメーション（デジタル革新）によって実現される新たな社会のビジョンであり、「創造社会」であると言えます。昨年11月に、経団連は「Society 5.0 –ともに創造する未来–」という提言を公表し、世界中の皆さまと共に創造したい未来社会のコンセプトとして、Society 5.0の具体的な姿を描きました。

デジタル革新による変化

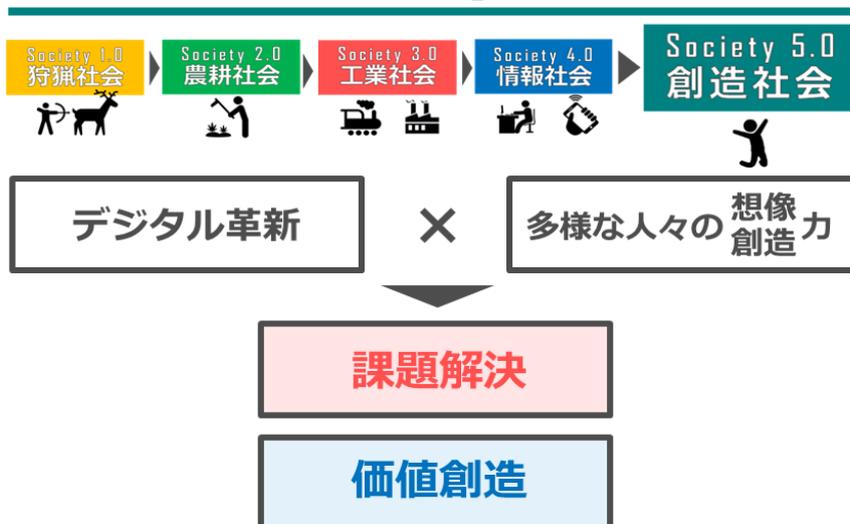
世界は今、大きな変化の波に直面しています。デジタル革新の波は止まることなく、人々の生活や行政、産業構造、雇用など社会のさまざまな面を劇的に変化させます。新たな技術は人々の生活の質や利便性の向上などのメリットをもたらす一方で、雇用への影響や格差の拡大、富や情報の偏在などの負の影響をもたらす可能性があります。どちらの方向に進むかを選ぶのは私たち人間次第です。技術によってどのような社会になるのかを予測するのではなく、どのような社会を創造していきたいのかを考えることが重要です。

Society 5.0とは

日本は、「Society 5.0」という次の社会の理想像を示すことにより、世界をより明るい方向へと導いていきたいと考えています。提言の中で、経団連はSociety 5.0を「創造社会」と名づけました。今後、人々には、豊かな想像力によって社会全体に散らばるさまざまなニーズや課題を見つけ、それを解決するシナリオを構想し、デジタル技術やデータを利用してそれを実現する創造力が求められます。Society 5.0とは、創造社会であり、デジタル革新と多様な人々の想像力と創造力の融合によって、課題解決と価値創造をもたらすものです。これは、国連によって採択された持続可能な開発

目標（SDGs）の達成にも貢献できる概念です。

Society 5.0



Society 5.0 のもたらすもの

Society 5.0 では、Society 4.0 までは克服できなかったさまざまな制約から解放されて、多様な生活や価値観を追及する自由が得られます。我々は、Society 5.0 を、誰もが、いつでも、どこでも、安心して、自然と共生しながら、価値を生み出す社会を目指していきたいと考えています。提言では、経団連が Society 5.0 の具体的な社会像についていくつかの重要な分野を取り上げて説明しています。



経団連は、Society 5.0の実現に向けて、企業や労働政策の改革、人材育成、データポリシーの確立、研究開発の強化、行政改革などについて、政府を始めとするさまざまなステークホルダーと共同で取り組んでいます。Society 5.0の実現に向けて、世界の皆さまとゴールを共有し、未来を共に創造していくことを願っています。

さらに詳しくは <http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/095.html> を参照ください。

以 上

中西 宏明 (Hiroaki Nakanishi)
経団連会長、経済広報センター会長、日立製作所会長

本ペーパーは、KCC INTERNATIONAL PLATFORM として、2019年4月12日に発信した“Society 5.0 -Co-creating the future-” Hiroaki Nakanishi を日本語訳したものである。

一般財団法人
経済広報センター

FAX: 03-6741-0032 E-mail: platform@kcc.or.jp
